

令和 2 年 5 月 25 日現在

機関番号：34315

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K02578

研究課題名(和文) オランダ・ベルギーにおける初期印刷本の研究

研究課題名(英文) studies on early printed books in Holland and Belgium

研究代表者

檜枝 陽一郎 (Hieda, Yoichiro)

立命館大学・文学部・教授

研究者番号：40218681

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,300,000円

研究成果の概要(和文)：ヨーロッパにおける著名な動物物語である、1479年成立の『狐ライナールト物語』以降の諸作品の系譜をその内容や時代背景も含めてはじめて明らかにした。また、1564年に成立した民衆本『狐ライナールト』では新教対旧教の対立を背景として、この民衆本がプロテスタント派の教義を浸透させるために印刷された可能性が高いことを述べた。シヴィリテ書体の採用もその一環である。その後『狐ライナールトあるいは動物の審判』が刊行された。キリスト教関連の宗教用語が注意深く削除されたことを具体的に証明した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

中世ヨーロッパにおける狐を巡る民衆本の原文を全訳し、その内容を明るみに出ただけでなく、成立事情をはじめ詳細に分析した。当時アントワープに存在した教育者や著述家、版元、印刷業者というネットワークの存在を明らかにした。また書籍検閲の時代にあつて、カトリック側による検閲および発禁処分の実態を詳しく提示し、修正された後の民衆本ではキリスト教関連の宗教用語が注意深く削除された事実をはじめて指摘した。

研究成果の概要(英文)： The texts of various versions after the European famous beast epic “Historie van Reynaert die vos”, published in 1479, have been translated and their historical backgrounds have been elucidated for the first time in this study. It can be also said with great possibility that the folk book “Reynaert de Vos” of 1564 has been published in the background of religious conflicts between Catholicism and Protestantism to propagate the Protestant teachings. In accordance with this aim the civilite-type was also introduced. Thereafter, “Reynaert den Vos, oft der Dieren Oordeel” has been published and it can be concretely attested that almost Christian religious terms were carefully eliminated in this version.

研究分野：中世ヨーロッパ文学

キーワード：中世ヨーロッパ文学 宗教改革 反宗教改革 検閲 民衆本

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

(1)近年の電子書籍の急速な普及を背景として、紙媒体による通常の書籍と電子書籍との様々な関係が議論され、それと同時に、15世紀後半に発明された活版印刷術がもたらした革命的な功績がいま一度脚光を浴び、再評価の機運が内外の研究者の間で高まっていた。とくに本邦ではヨーロッパの活版印刷術に対する関心が高く、これまで多くの関連本が刊行されてきた。他方、オランダおよびベルギーでは、最初期の印刷業者であったオランダのゴータ出身の印刷業者ヘラルト・レーウとその印刷本を再評価する機運が高まっていた。

(2)研究を開始した当時、ロッテ・ヘリング著徳永聡子訳『初期イングランド印刷史-キャクストンと後継者たち-』(雄松堂書店)が慶応大学の研究者たちにより刊行された。イギリス最初の印刷業者であるキャクストンは、もとはベルギーのプリュージュで印刷業を興した人物であり、イギリス最初というより低地諸州最初の印刷業者といった方が相応しい。オランダおよびベルギーでは、各印刷業者はネットワークをもち、書籍を分業制によって出版していた事実も判明している。それゆえ、キャクストンに興味が高まるならば、かならず低地諸州における印刷業が注目されるのは当然という状況にあった。

### 2. 研究の目的

オランダ・ベルギーにおける初期印刷本(インキュナブラ、15世紀末)および16世紀の民衆本を研究対象として、印刷された書籍と初期の民衆本をめぐる様々な状況を考察するのを目的とした。とくに、最初期の印刷業者であったオランダのヘラルト・レーウの動物叙事詩『狐ライナールト』をめぐる出版活動から、16世紀の民衆本に到る文学史上の展開に焦点を当てた。具体的なテキスト内容まで踏み込んで印刷本を研究する試みはこれまで皆無であり、印刷業者が本の体裁に凝らした創意工夫がその後の書籍のあり方にどう影響したのかを明らかにした。また16世紀の宗教改革と反宗教改革の対立の中で、書籍もその影響をつよく受けており、宗教対立が書籍の内容に与えた影響を考察するのを目的とした。

### 3. 研究の方法

(1)研究代表者は、オランダ・ベルギーにおける初期印刷本(15世紀末)から民衆本(16世紀中頃)に到る過程を研究している。とくに、中世ヨーロッパで非常に人気を博した動物叙事詩である狐のライナールトを主人公とする物語を中心に、章立てや標題、奥付や挿絵の導入、韻文から散文に変更された際のテキストの変更など、具体的なテキスト内容まで踏み込んでその変遷を研究した。

(2)前述のように、狐のライナールトを主人公とする物語は、初期印刷本の時代から様々な改編を経て16世紀中頃にアントワープで刊行された民衆本『狐ライナールト』に繋がる。この民衆本と先行作品の比較分析を行うと同時に、その成立過程を明らかにした。これを出版した出版業者のペーター・ファン・ケールベルヘンの活動とその出版ネットワークを考察することで、民衆本『狐ライナールト』(1564年)を文学史上に位置づける。そうした目的で、テキストの比較分析を行いながら、ベルギーのアントワープにあるプランタン・モレトゥス印刷博物館に残る資料を活用した。プランタン印刷所は後続する作品群を印刷した当の印刷所であり、また当時の帳簿も残っており、印刷に関するあらゆる資料が揃っているという点で、その資料収集は非常に重要なものとなった。

(3)さらに、作品に使用された活字の研究を進めた。16世紀の民衆本には、フランス人ロバート・グランジョン(Robert Granjon)によって1557年に考案された新しいシヴィリテタイプ(civilitéé type)の活字が用いられている。この活字は低学年の学習用であったのと同時に、新教徒による宣伝媒体のための活字として使用されたのが判明している。特定の活字が特定の宗教活動と結びついていた事実を重視して、印刷本に使用された活字の分析を行った。この目的のために、ドイツのフライブルク大学図書館が所蔵する原本をも参照した。

(4)さらに、印刷業者間での作品の使い回しや国際的なネットワークを研究テーマとした。当時活動した多くの印刷業者は、活字の貸借や同一書籍の再版、同じ本の各国語への翻訳など、出版を通じた、いわば国際的なネットワークという観点から民衆本の特徴を明らかにした。

(5)16世紀の民衆本のほとんどは宗教改革と反宗教改革の対立の中で、しばしば検閲を受けたり、出版業者は弾圧されたりした。出版業者は弾圧を逃れながら出版を続けるために、民衆本の内容を当たり障りのない、穏健なものに変えて生き残りを図った。そうした修正の内容を詳しく考察することで、宗教的検閲の内容を明らかにした。

### 4. 研究成果

(1)第一に、ヨーロッパにおける著名な動物物語である、オランダのゴータの印刷業者ヘラルト・レーウが出版した『狐ライナールト物語』以降の諸作品の系譜をその内容や時代背景も含めてはじめて明らかにした。すなわち、1487年から1490年にアントワープで刊行された『ケンブリッジ断片』、1564年のペーター・ファン・ケールベルヘンの民衆本『狐ライナールト』、またヒエロニムス・フェルドゥッセンが1700年前後に出版した検閲を経た後の『狐ライナールトあるいは動物の審判』の全容を明らかにした。

(2)『ケンブリッジ断片』には、新たに散文による教訓や木版画、章の見出しなどが追加されてい

る。こうした改編を行ったのは、ロートリンゲン大公の師父ヒンレク・ファン・アルクメルなる人物だとされるが、本研究ではこの人物がかつてユトレヒトの検事総長を務め、ブルゴーニュ家のダヴィド・ファン・ブルゴーニュとかなり緊密な関係にあり、ユトレヒト在住であったことを明らかにした。その一方、アントワープに転居していたヘラルト・レーウが刊行したこの物語の言語的特徴は、ブラバント方言を主体にしたものであるのが分かった。断片が刊行されたのがブラバント方言内に位置するアントワープであったからである。中世末期には、ブラバント方言およびブラバント・ホラント方言が、印刷業者が印刷した書籍に使用されたという理由で、さらにその地域の経済的な重要性からとりわけ重要度を増していたことが判明した。

(3)他方1564年に成立した民衆本『狐ライナールト』では、物語の舞台がアントワープを中心に展開し、先行作品になお脇役として登場していた動物たちや人間が削除され、物語が狐ライナールトを主人公とする諸事件の連鎖として簡素化された。メインストーリーとはさほど関係しないサブストーリーがことごとく削除され、事件が時系列に沿ってあっさり経過していく印象が強い。

また、その内容および使用された書体の考察を通じて、さらに当時のアントワープの置かれた新教対旧教の対立を背景として、民衆本『狐ライナールト』の特徴を明らかにした。この作品に見られる、とりわけ司祭を巡る内容の変更などを検討すると、この民衆本がプロテスタント派の教義を浸透させるために印刷された可能性が高いことが判明した。シヴィリテ書体の採用もその一環である。その表題に記された「とても楽しくて気晴らしになる物語」には、プロテスタント思想の浸透という隠された意図が見え隠れする。このように、民衆本『狐ライナールト』は、印刷出版業がひじょうに盛行した16世紀後半のアントワープにおいて独自の性格を持った物語に改編された。この物語が若者向けの教訓話として有用であること、また売れる見込みをそこに見出したのは印刷業者ペーター・ファン・ケールベルヘンの優れた着眼であった。1564年に刊行されたこの『狐ライナールト』が端緒となり、ほぼそのままの形でその後19世紀まで伝承が続くことを考えれば、狐ライナールトを巡る伝承は、ペーター・ファン・ケールベルヘンに負うところがすこぶる大きいと言える。

結局、この民衆本によって物語には若者向けの教訓話という新たな特徴が付与された。当時アントワープに存在した教育者や著述家、版元、印刷業者というネットワークがそれを可能にしたのである。

(4)民衆本『狐ライナールト』が出版されたのは16世紀中頃であったが、その時代はまたカトリック側による書籍の検閲の時代でもあった。『狐ライナールト』も他の民衆本と同様、1570年にアルバ公によって発禁処分とされた。多くの民衆本が検閲官によって発禁処分となり、焼却処分にされたものの、これに熱中する若者が後を絶たず、また出版業者もあらゆる隠蔽手段を使ってそうした書籍の出版を続けたので、カトリック側も一定の検閲を経て修正を加えたものならば許可するという新たな段階を迎えた。こうして出来たのがヒエロニムス・フェルドゥッセンによる『狐ライナールトあるいは動物の審判』なる作品であり、おそらく1621年に原本が成立したと推測するに到った。修正箇所を仔細に見ると、キリスト教関連の用語が注意深く削除されているのが判明した。あたかもキリスト教とは無縁の単なる動物世界の事件が生起している物語に改編されたのが分かる。当時の検閲と修正の具体的内容をはじめて明らかにした意義は大きいと考える。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 檜枝陽一郎	4. 巻 663
2. 論文標題 民衆本『狐ライナールト』の独自性を巡る考察	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 立命館文学	6. 最初と最後の頁 p.122-p.137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 檜枝陽一郎	4. 巻 658
2. 論文標題 「ケンブリッジ断片」とヘラルト・レーウ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 立命館文学	6. 最初と最後の頁 p.1-p.28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 檜枝陽一郎	4. 巻 654
2. 論文標題 オランダにおける原活版印刷本について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 立命館文学	6. 最初と最後の頁 p.87-p.107
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計1件

1. 著者名 檜枝陽一郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 言叢社	5. 総ページ数 347
3. 書名 民衆本狐ライナールトと検閲	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----